

お金**カンチ**の私が **株式投資**を



楽しめるように
なった理由

SUITA TOMOKO

吹田朝子

ISHIKAWA NORIKO

石川紀子

孫子の兵法で学ぶ 投資センスの磨き方

ある日、私の親友が
食事をおごってくれた。
そのとき、お会計で
初めて目にしたのが
株主優待券だった……。

**ストーリーパートと解説パートで、
株式投資の基礎や自分に合った
投資スタイルが学べる！**



お金カンチの私が 株式投資を 楽しめるように なった理由



SUITA TOMOKO
吹田朝子
ISHIKAWA NORIKO
石川紀子



■ 本書について

- 本書は2016年9月現在の情報で記述されています。
- 本書は全体を通して税金は考慮しておりません。
- 本書は著者・編集者が実際に調査した結果を慎重に検討し、著述・編集しています。ただし、本書の記述内容に関わる運用結果にまつわるあらゆる損害・障害につきましては、責任を負いませんのであらかじめご了承ください。



はじめに

「今までお金をことを避けてきたけれど、お金に対してもっと積極的に付き合っていきたい」

「お金にはおいしい話もつきものだけれど、そんな話に惑わされずに身の丈に合わせて、自分らしく貯めて増やす楽しさを学びたい」

「ノウハウも大事だけれど、お金を運用するのに大事なマインドをしっかりと学びたい」

「運用することでお金と上手に付き合うことができるようになったら、精神的にもゆとりができ、人生の質が変わってくるように感じています」

最近、お金に関してこうした声をいただくことが増えてきました。

また、株式投資というと、「何を買えば儲かる?」とか、「株式投資なんて難しくてわからない」「投資するようなお金もない」という声も時々耳にします。しかし、「投資」そのものの意義や本質を捉えることができれば、私たちの毎日はもっと可能性が広がるのではないのでしょうか?

投資は「資金を投じる」と書きますが、その目的と意識しだいで、その行為を通じて得ら

れる価値は無限大になります。「投資」の本質は実は「殖やす」ことではないのです。多くの方が誤解してらっしゃいますが、「投資」というのは特殊な金融商品で大金を動かすことだけを指すわけではありません。貯金箱に貯めている500円玉も、毎月の給与から積み立てる1万円も立派な投資です。つまり日々のお金について知り、それを生かすことが「投資」であり、全ての人に通じるスキルなのです。

私たちが暮らす今の時代は、親世代が全盛期を生きた時代ともだいぶ違ってきていますよね。また、世界の様子や金融・経済の状況からも、私たちの環境が前例のない時代に突入しているのは明らかです。だからこそ、冒頭にあげたような視点が重要で、それを高めていくことは、まさに「自分自身の本質に近づくプロセス」とも言えるでしょう。

本書は、そうした「自分自身の本質に近づくプロセス」として活用していただけるように、株式投資の話を通じて、「自分を知る」「自分のビジョン・未来像を大切にする」「何のためにやるのか、目的と手段をはき違えない」といった考え方をストーリーリーパートと解説パートの二部構成でお伝えしています。

今、当然のように見えていることが、そもそもなぜ誕生したのか、何のために存在するのか、という歴史や役割も、物事の本質を捉えるために、本書では随所に登場してきます。また、損得に振り回される人間のエゴにも触れながら、株式投資のような値動きのあるお金とど

う付き合っていけばよいのかも整理しながらお伝えしています。

実際の株式投資は、投資先や売買のタイミングや予算もすべて、自分の意志で決めて行動できるものですよね。ある意味、自分の好きなことやそれに関するテーマを追究することもでき、「人生の可能性を広げる自己表現の1つ」でもあると思います。その株式投資が、ストレスで終わってしまうのか、楽しく味わえるのかでは、人生も大きな違いが出てきます。

株式投資は非常にシンプルでありつつ、「お金」や「投資」の本質を学ぶための基本が全て詰まっています。少額から始められることもあり、「投資」は難しいと感じられている方にこそ知っていただきたいことでもあります。株式投資を知ることと、「お金」に翻弄されることなく、より良く「お金」と付き合っていく方法が見えてくることでしょう。

投資なんて初めての方も、少しかじってみただけでもやっぱり……という方も、本書を読み進めていただくうちに、きっと「株式投資って楽しい！」って感じていただけるのではないでしようか？

あなた自身の本質を深め、人生の可能性を広げるチャンスにつながる株式投資への道へ、さあ、一緒に進んでいきましょ。

2016年 9月

吹田朝子 石川紀子



あんな

* 杏奈 *

ストーリーの主人公。会社に勤めて3年目。まじめで人情深く、誰かのサポートに徹することが多い。数字が苦手でお金は銀行においているだけで、今回、初めて株式投資に興味を持つ。

ちえ

* 智恵 *

杏奈の高校時代の親友。合理的でチャキチャキと物事を進めるタイプ。兄、大輔と仲良しで、今回、杏奈を誘って兄から株式投資について学ぼうと提案する。



だいすけ

* 大輔 *

智恵の兄で以前より株式投資を楽しんでいる。学生時代から剣道をやり、「孫子の兵法」にも詳しいので、杏奈と智恵に株式投資について教える際、自らの剣道や孫子の「五事」と結び付けて教えることになる。



れいこ

* カフェのオーナー玲子 *

杏奈、智恵、大輔が株式投資の勉強をする際によく立ち寄る古民家カフェのオーナー。品の良い白髪のマダム。古民家を改造する際のこだわりやお客様への気配りなど、独自のセンスを光らせている。





第1章

誤解だらけの株式投資

- ☒ 株って怖いモノ、ギャンブルなの？……………24
 《解説》株式投資は、ギャンブルとはまったく別もの……………31
- ☒ 株で損をするのが嫌で身動きが取れないのはなぜ？……………35
 《解説》損するリスクとどう付き合うのか？……………39
- ☒ 株が気になって、本業が手につかなくなる？……………43
 《解説》株式投資に大切な証券会社と証券取引所の役割……………48



プロローグ

- ☒ 会計のときに、目にした株主優待券とは？……………14
 《解説》ビジネスの広がりと会社と株主の関係……………19

はじめに……………3

登場人物紹介……………6

第2章

未来像へ近づくためのプランを描く【道】編

✔ 誤った投資の始め方と落とし穴……………52

《解説》孫子の五事「道・天・地・将・法」と投資の共通点……………58

✔ 自分は何のために投資するのか？……………62

《解説》お金を殖やすことではなく、人生でどう使いたいか……………67

✔ 投資を通じて、はじめてわかる自分……………71

《解説》未来像に向けたお金の戦略……………75

第3章

世の中の流れと時間を味方にする【天】編

✔ お金が集まって、そこから回る流れがある……………80

《解説》そもそも「エコノミー・経済」の由来って何？……………88

第4章

自分に合わせたリスク管理・資金管理【地】編

✓ 日本人は貯蓄体質ではなかった!? 91

《解説》金利や為替と株価の関係 99

✓ 時間を味方につける 104

《解説》複利の効果をより活かすには 114

✓ 何のためにリスクをとるかは人生観にも通じる 118

《解説》リスク許容度とリスク・リターンの関係って? 124

✓ リスクを軽減するための分散投資ってどんなもの? 132

《解説》分散投資とポートフォリオとは? 139

✓ 地に足付けた投資用のお金の管理とは? 147

《解説》値動きで検証! 「減らさない」投資の重要性とは? 153

✓ 証券会社は自分とマーケットがつながる入り口 158

《解説》証券会社の選びのポイントとは? 166

第5章

経営者の視点で情報収集し

経営センスを磨く【将】編

✓ 経営センスのある人は魅力的でモテる!? 172

《解説》 株式投資家は小さな経営者 181

✓ 身近な題材から情報収集し、宝探しを楽しむ 184

《解説》 情報収集すれば目利き力がアップする 190

✓ 会社四季報は業界情報の宝庫! 195

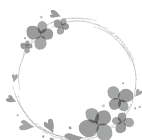
《解説》 会社四季報は投資家のバイブル 200

第6章

具体的な投資のマイルールを作る【法】編

✓ 自分らしい投資のやり方が見えてくる! 208

《解説》 「マイ銘柄と売買ルール」で個人投資家ならではの醍醐味を 212



エピソード

| | |
|-------------|-----|
| ✓久々の再会…………… | 262 |
|-------------|-----|

| | |
|-----------|-----|
| おわりに…………… | 269 |
|-----------|-----|

| | |
|---------------------------|-----|
| ✓配当や株主優待の魅力から銘柄を選ぶ方法…………… | 217 |
|---------------------------|-----|

| | |
|-------------------------|-----|
| 《解説》株主優待は使う頻度を考えよう…………… | 221 |
|-------------------------|-----|

| | |
|-----------------|-----|
| ✓株の価値を知る方法…………… | 225 |
|-----------------|-----|

| | |
|------------------------------------|-----|
| 《解説》PER・PBR・ROE指標で株の本来の価値を知ろう…………… | 229 |
|------------------------------------|-----|

| | |
|------------------------|-----|
| ✓日本人考案のチャートとローソク足…………… | 237 |
|------------------------|-----|

| | |
|--------------------------------------|-----|
| 《解説》ローソク足チャートの基本を知って、タイミングに活かそう…………… | 240 |
|--------------------------------------|-----|

| | |
|--------------------------|-----|
| ✓無理のない予算で定期的に投資を始める…………… | 247 |
|--------------------------|-----|

| | |
|---------------------------------|-----|
| 《解説》「ミニ株」と「りとう」(株式累積投資)の効果…………… | 252 |
|---------------------------------|-----|

Let's enjoy!





会計のときに、目にした株主優待券とは？

「お誕生日おめでとう！ 乾杯！」

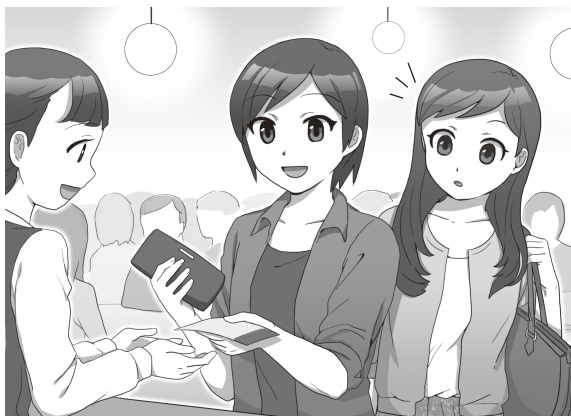
友達の智恵がお祝いにと、おしゃれなレストランでの食事に誘ってくれた。

「お互い社会人になって忙しくてなかなか時間が作れなかったけど、今日は久しぶりに会えたと、思いつきり話そうね」

「ありがとう！」

何年ぶりだろう。智恵は高校時代の親友。クラス委員も部活も積極的な智恵とはなぜか馬が合った。恋愛も奥手の私に対して、親身になっていろいろとアドバイスしてくれた。

楽しい時間があつという間に過ぎて、お会計



のとき、私がお財布を出そうとしたら、智恵は、いいからいいからと私の手を上から押さえた。

「ホントにイイの？ 悪いよー」

「いいのいいの。ちよつと、お得な券も使えるから。これ、私も使ってみたいのよ。だから気にしないでね」と智恵は自信満々にニツコリと笑った。

お得な券？ なんだろうと、私は遠目に見てみると『株主様 ご優待』と券に書かれているような……。

「ご利用、ありがとうございます」

レストランを出てから、思い切って智恵に聞いてみた。

「ほんとにありがとう。さっきの券、見たことないけど、あれ何の券？」

「あれね、株主優待券。お兄ちゃんにもらったの」

「株主ゆうたい……？」私は何のことかよくわからないまま返事した。

「私のお兄ちゃん、株の取引をいくつかやっているんだよね。この間、どこか美味しいお店知らない？ って聞いたなら、ちょうど株主に送ってきたこの券をくれたの。お料理もおススメだから行っておいでって」

「ふーん、株でこんな券をくれるところがあるんだー」

「就活のときも、株式投資で調べた企業の話とかよく教えてくれたんだ」

「へえ、就活のときも？ 株って企業のこととか詳しくないといけないもんね。そんなお兄ちゃん、いいなあ」

電車を降りると智恵が何かを発見した。

「あ、うちの車だ。あれ？ お兄ちゃんがいる！」

見ると、駅前の駐車場で智恵のお兄さんがちょうど剣道の荷物を出し入れしていた。身長は177センチくらいのスポーツマン風で結構イケメンかも。

「おお。ちようど帰り？ これから帰るけど、よかったら一緒に乗ってく？」

結局、お兄さんの車に乗せてもらって私も家まで送ってもらうことになった。

智恵がいつになく楽しそうな声で言った。

「楽しかったあ♪」

「よかったな。高校からの親友だもんね。2人で久しぶりに話せて」お兄さんも嬉しそうに言った。

「はい。お兄さんの紹介のお店、とっても素敵で美味しかったです」

「そんなに喜んでもらえて僕も嬉しいよ。あと、お兄さんなんてよそよそしいから大輔でいいよ」

「じゃあ、大輔さん。ありがとうございます」と私は少し照れるように言ってみた。

「それに結局おごってもらっちゃって、2人にはホントに感謝です！」

「うふふ、秘密兵器の株主優待券だもんね。私のお財布の中身は変わらなーい」

私は、やっぱり気になって智恵に聞いてみた。

「ねえねえ、その秘密兵器、株主優待券ってどんなものなの？」

「えっと……。お兄ちゃん、説明お願い(笑)」

「なんだよー。この間、智恵には話したじゃん」

帰りの車の中は、株主優待券の話題でもちきりになった。私には、大輔さんがとっても知的な男性に見えて、しばらく緊張していた。

「株主優待って、会社が株主に対するお礼の1つとして、何か優遇をしてくれるサービスなんだ。ちょうど、あのお店グループ会社の株を持っていて、この間、送ってきてくれたんだよ」

「どんな人がもらえるんですか？」私はおそろおそろ大輔さんに聞いてみたが、智恵

がここぞとばかりに自分の知っている知識を話したくて会話を割り込んできた。

「杏奈、それいい質問！ それは私でもわかる。その会社の株を買った株主だよ。ね。お兄ちゃん」

「確かにそうだけど、まだ説明が足りないよ。株主優待は、その会社の決算日に合わせた権利確定日に、一定数以上の株を持っている株主に対して提供されるものなんだ。その内容は会社によってまちまちさ」

「ねえねえ、お兄ちゃん。私たちに株式投資のことをもっと教えてよ。杏奈も興味あるでしょ？」

「あつ、はい！ もし、ご一緒できるのなら……」

「うーん、そうか。時間をどこで作るかだよなあ。みんな仕事があるから時間あるのは土日くらいでしょ？ 僕は、週末に剣道があるし……。そうだ！ 月2回くらいだけど、僕の剣道の練習の前後や移動中ならいいかも」

「うわー、練習後は、汗臭いと思うけど。杏奈それでもいい？」と言いながらも、智恵は私と一緒に3人で株式投資の勉強できるのをさも嬉しそうに誘った。私もみんなと一緒に話せる楽しみができて、なんだか嬉しくなった。



ビジネスの広がりとは会社と株主の関係

株主になるということは、ある特定の会社が発行する株を購入して会社のオーナーの1人になることです。その会社から見ると、経営に必要なお金を投資してくれている人が株主ということになります。

株式会社の始まりは、東インド会社にさかのぼります。1600年イギリス王政の最盛期、エリザベス一世によってアジア地域との貿易の特権を与えられたイギリスの東インド会社は、当時、一航海ごとに資金を集めて株を発行し、船が胡椒などを積んで帰国した後に利益を分配するという形態をとっていました。1602年、オランダの東インド会社は、一航海ごとではなく、継続的に資金集めと利益分配を行っていたので、これが実質的な株式会社の起源といわれます。

1600年といえば、日本では関ヶ原の戦いがあり、イギリスやオランダからの貿易商人が日本に來日しています。

そのころから世界では株式会社がスタートし、株という形式で、その成果をみんなに分配(share)できる資金調達方法が浸透していったのです。私たち人類の好奇心

やビジネスの展開は、このような株式会社という形態で広くお金を集めることができたからこそ、広がっていったといっても過言ではないでしょう。ちょっとロマンを感じませんか？

今では、株を売買できる市場が整い、株主は、会社の経営に賛同して、途中から「乗るよ」と手をあげることもできるし、その後で「降りるよ」と判断することもできるわけですが、株主にとっての権利と義務というのは一体何でしょうか？

株主の権利は大きく3つあります。まず1つ目として、出資額（持株数）に応じて利益配分を受ける権利、つまり「利益配当請求権」があります。決算後の配当金はそれに当てはまりますし、株主優待券というのも、株主への配分の1つです。なお、株主優待に積極的な会社は、個人の株主に対して商品やサービスなどをもっと知ってもらいたいと、個人向けのPRをかねているところも多く見られます。株主への配当や株主優待の権利は、「権利確定日」に一定株数以上を持っている株主に対して、株主総会の決議を経て分配されます。なので、会社の決算日や決算の内容、株主総会も意識しておく必要があります。

2つ目として、株主総会へ出席して経営に参加できる権利「経営参加権」があります。株主は一人ひとりが会社に出資を出すオーナーで、株主総会はその株主によって構成されます。その会社の経営方針や役員などの選任、決算報告や剰余金の配当など、経営に重要なことを決める意思決定機関で、質疑応答が白熱することもあります。原則として決議は多数決で行われます。

3つ目は、会社の清算時に会社の資産を分配して受け取る権利です。仮に会社が解散した場合、その会社の持っている資産は売却などによって、まず、お金を借りた債権者への返済に充てられ、その後、残っている財産があれば、株主は持ち株数に応じて分配を受けることができます。

こうした権利に対して、株主の義務および責任はたった1つ。「株の購入時に出資金額を上限とする出資の義務」です。つまり、株を購入するために資金を出したら、その額以上に追加で何かを求められる心配はありません。しかし、その出した額で手にした株の価値は、会社の株価の動きに応じて共に変動する、リスクを伴うという意味もあります。

こうしてみると、株主になるということは、その会社の経営と密接な関係になるということです。配当や株主優待は、会社の方針や決算状況によっても変わってきます。また、途中で株を売る際は、逆にその株を買いたいという希望者がどのくらいいるかによって、価格が変わってきます。買った時よりも人気が出て価格が上がっているならば、売ると利益が出ることになりますが、その逆の場合は、損失が出ることもあります。会社はまさに生きている組織で、その価値が数字に表れる株価も日々変わっていくので、これらに慣れることが大事になってきます。

こうした株式投資は古くからあるものですが、私たちが実際に情報を集めたりする投資先としての株式会社はどんどん進化しています。古くて新しい株式投資について、ここでは、杏奈さんの親友である智恵さんのお兄さん（大輔さん）が自分らしく取り組んでいる株式投資の考え方・捉え方を参考に、まったくの投資初心者の方の杏奈さんの素朴な疑問と一緒にクリアにしながら、あなたならではの、投資の醍醐味を見つけていただければと思います。

Let's enjoy!



第1章

誤解だらけの株式投資



株って怖いモノ、ギャンブルなの？

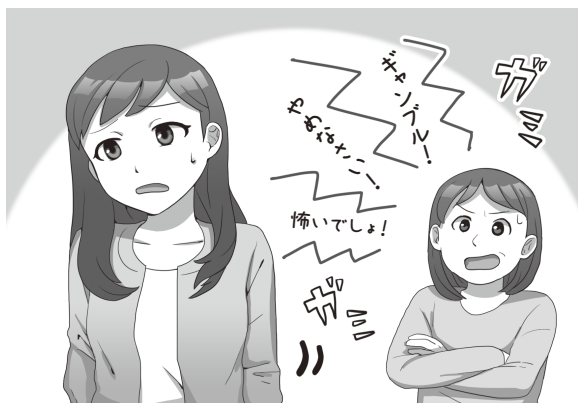
「株式投資なんて、そんなものやめなさい！
ハマったら怖いでしょ！」

家に帰って、株のことを母に話してみた私は、
いきなり面喰った。

「そんなもの……だなんて」

「そんなの、ギャンブルみたいなものなんだから。まったく！ やつと仕事にも慣れて落ちてきたかと思ったら、もう危ないものにふわふわと。油断もスキもないんだから」

はあ、せっかく気持ちよく食事をしてきて、
いろいろと学ぼうと思ってるのに台無しだ。
そんな私の気持ちなんてお構いなしに、間髪い



れずに、まだ母は話してくる。

「いい？ 親戚の和夫おじさん、いるでしょ？ とってもいい人なんだけど、株で大損しちゃっているのよ。いまだに売れない塩漬株ばかりもって、奥さんにも子どもにも迷惑かけているのよ」

「ふーん、和夫おじさんがねえ」

「人間真面目が一番よ。地味かもしれないけど、無駄遣いなどしないで、コツコツとお金を貯めて、そして真面目な人と結婚できて……」

「はいはい、そこですか」

何とも居心地が悪いので、リビングからさっさと離れて、自分の部屋へ行くことにした。

親は親、私は私。ちよつと調べてみよつと。

もともと調べたり勉強するのは嫌ではないタチなので、さっそくパソコンを開いて、「株式投資とは」と検索してみた。

用語集から、証券会社のページ、教育的な学校のページなどたくさん出てくるが、